



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 因幡電機産業株式会社
 コード番号 9934 URL <https://www.inaba.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 肇一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 家郷 晴行
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-4391-1781

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	193,420	7.4	10,766	12.2	10,952	12.5	7,990	4.6
2020年3月期第3四半期	208,795	7.1	12,259	18.1	12,519	16.1	8,375	19.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 9,695百万円 (4.8%) 2020年3月期第3四半期 9,253百万円 (75.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	143.50	142.69
2020年3月期第3四半期	150.33	149.44

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	203,163	132,698	65.0
2020年3月期	212,214	127,811	59.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 131,955百万円 2020年3月期 127,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		100.00		50.00	
2021年3月期		50.00			
2021年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年3月期の1株当たり第2四半期末配当金については、当該株式分割前の実際の金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。なお、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の2020年3月期の1株当たり第2四半期末配当金は50円00銭となり、1株当たり年間配当金は100円00銭となります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	9.8	13,300	17.5	13,700	16.2	9,800	15.2	175.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	56,419,000 株	2020年3月期	56,419,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	574,669 株	2020年3月期	850,585 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	55,684,424 株	2020年3月期3Q	55,715,915 株

(注)当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。期中平均株式数は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出自粛や休業要請などにより企業活動が抑制されるなか、経済活動の再開や各種政策の効果による持ち直しの動きがみられたものの、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループの係わる電設資材業界は、営業活動の制限や建設工事の一時中断などにより、低調に推移いたしました。また、自社製品の係わる空調業界は、エアコンの買い替え需要の高まりに政府の特別定額給付金が追い風となり、ルームエアコンの出荷（国内793万台 前年同期比3.9%増）が堅調だったものの、建設需要の後退などにより低調に推移いたしました。

このような情勢のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進したものの、売上高は1,934億20百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は107億66百万円（前年同期比12.2%減）、経常利益は109億52百万円（前年同期比12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は79億90百万円（前年同期比4.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<電設資材事業>

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響や東京オリンピック関連需要の反動減などによって、電線ケーブル類や受配電設備をはじめとした電設資材全般において売上が減少した結果、売上高1,311億97百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

<産業機器事業>

情報インフラ投資の本格化などを背景に半導体関連向けの販売が底堅く推移したものの、製造業を中心とした設備投資の先送りにより、制御機器及び電子部品の販売が減少した結果、売上高202億94百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

<自社製品事業>

堅調なルームエアコンの出荷を背景に空調配管化粧カバー「スリムダクトシリーズ」などの販売が底堅く推移したものの、政府の熱中症対策による学校空調導入の反動減などにより被覆銅管が大幅に減収した結果、売上高419億27百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、現時点において2020年10月30日公表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,849	69,297
受取手形及び売掛金	71,176	53,838
電子記録債権	17,027	18,472
有価証券	503	—
商品及び製品	12,992	17,754
仕掛品	281	289
原材料及び貯蔵品	1,843	1,755
その他	1,341	1,409
貸倒引当金	△32	△26
流動資産合計	173,983	162,792
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,208	12,203
その他(純額)	7,708	7,628
有形固定資産合計	19,916	19,831
無形固定資産		
投資その他の資産	1,282	1,217
投資その他の資産		
投資有価証券	14,436	17,323
その他	2,671	2,053
貸倒引当金	△75	△53
投資その他の資産合計	17,032	19,322
固定資産合計	38,231	40,371
資産合計	212,214	203,163
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,315	52,583
電子記録債務	4,541	5,357
短期借入金	363	334
未払法人税等	2,972	259
賞与引当金	4,852	1,809
役員賞与引当金	225	164
製品保証引当金	107	107
その他	4,479	3,281
流動負債合計	78,856	63,897
固定負債		
退職給付に係る負債	59	63
その他	5,486	6,503
固定負債合計	5,546	6,567
負債合計	84,403	70,464

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,962	13,962
資本剰余金	14,171	14,194
利益剰余金	96,946	99,368
自己株式	△1,920	△1,297
株主資本合計	123,160	126,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,804	5,607
為替換算調整勘定	217	120
その他の包括利益累計額合計	4,022	5,727
新株予約権	628	742
純資産合計	127,811	132,698
負債純資産合計	212,214	203,163

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	208,795	193,420
売上原価	173,912	161,735
売上総利益	34,883	31,684
販売費及び一般管理費	22,624	20,918
営業利益	12,259	10,766
営業外収益		
受取利息	42	32
受取配当金	297	376
仕入割引	786	702
その他	273	205
営業外収益合計	1,400	1,316
営業外費用		
支払利息	28	8
売上割引	1,054	926
その他	56	195
営業外費用合計	1,139	1,129
経常利益	12,519	10,952
特別利益		
投資有価証券売却益	9	1,020
固定資産売却益	3	2
特別利益合計	13	1,023
特別損失		
新型コロナウイルス対策費用	—	233
固定資産除却損	30	7
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	31	242
税金等調整前四半期純利益	12,501	11,733
法人税、住民税及び事業税	3,144	2,469
法人税等調整額	982	1,274
法人税等合計	4,127	3,743
四半期純利益	8,373	7,990
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,375	7,990

（四半期連結包括利益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	8,373	7,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	872	1,802
為替換算調整勘定	6	△97
その他の包括利益合計	879	1,704
四半期包括利益	9,253	9,695
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,254	9,695
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

新型コロナウイルス対策費用

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言に基づく政府、自治体からの要請を受け、職場での「三つの密（密閉、密集、密接）」を回避するための臨時対応として、新たに短期間の契約をしたサテライトオフィスの賃借料等であります。なお、当該契約は2020年10月31日をもって解約しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	137,816	22,802	48,176	208,795	—	208,795
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,695	734	3,276	5,706	△5,706	—
計	139,512	23,536	51,453	214,501	△5,706	208,795
セグメント利益	3,801	768	10,047	14,618	△2,116	12,501

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,116百万円には、セグメント間取引消去110百万円、報告セグメントに配分していない全社費用△2,384百万円及びその他の調整額156百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額 (注) 2
	電設資材事業	産業機器事業	自社製品事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	131,197	20,294	41,927	193,420	—	193,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,437	487	2,713	4,638	△4,638	—
計	132,635	20,782	44,641	198,059	△4,638	193,420
セグメント利益	3,170	519	8,359	12,049	△315	11,733

(注) 1. セグメント利益の調整額△315百万円には、セグメント間取引消去93百万円、報告セグメントに配分していない全社損益△424百万円及びその他の調整額14百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外損益及び特別損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。